



刊日 一月廿一日

印行人 川奇文治
本社ト同番地 (電話六三〇番)
印刷所 常磐毎日印刷所 (電話六三〇番)
定額一部金貰錢
料告廣五字號十二
日刊休日曜大祭
福島縣石城郡平井長橋町三五
發行所 常磐毎日新聞社 (電話六三〇番)
院長 醫學士 高久忠
副院長新潟醫學士赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
平町田町 電話五一三番

高久病院
藤沼醫院
内科、小兒科、花柳病科
入院需應 電話長平五〇七番

寄書
二大政黨の執るべき道
(二) 番人
磐陽番人

故にこゝ暫く隠忍して他日の捲土重來のために敵をして我れの爲に十分なる準備をなさしめる後我れ本來の積極主義を遂行すべき時過失をなすの餘裕を與へこに我れの舊惡を國民に忘れしめ、又敵をして何時しか代を待つは、英國の政黨者流を學ぶ所以であると同時に我優劣なき時に於て始めて

進せんことを他方政友會に

出動することこそ利ありと

對しては無抵抗主義又は平

和主義を以てこれに當り以

て最後の所信の貫徹を圖ら

んことを進言するものであ

る。

(をはり)

對しては無抵抗主義又は平

和主義を以てこれに當り以

て最後の所信の貫徹を圖ら

んことを進言するものであ

